

平成 25 年 11 月
第 5 号
岩手県立磐井病院

連携いいわい



【目次】

- 地域料支援病院の指定取得・・・1
- 診療科紹介:神経内科・・・2
- 認定看護師紹介・・・2
- NST の取り組みについて・・・3
- 紹介率・逆紹介率・・・3
- 地域連携バス検討会を実施・・・4
- 開放病床の運用について・・・4

当院の理念等

○病院理念○
「地域の皆様に
納得できる医療を提供します。」

- 基本方針○
- ①患者さんの希望や背景を尊重します
 - ②患者さんの個人情報を守ります
 - ③患者さんの安全に配慮し診療に全力を尽くします。
 - ④地域における病診・病病連携を実践します

地域医療支援病院の指定を取得

当院は、地域医療機関と適切に連携し、かかりつけ医をはじめとした地域医療機関、救急医療を支援した実績が認められ、平成 25 年 10 月 1 日付で岩手県知事より「地域医療支援病院」の承認をいただきました。岩手県内において県立中央病院、中部病院に続き 3 番目の承認となります。

地域医療支援病院は、病院や診療所が地域の中でそれぞれ役割分担をし、地域医療機関等が一つになって患者さんの治療を行うなかで、中心的や役割を担うことを目的として設置される病院です。

当院はこれまでも地域の医療機関や患者の皆さまのご協力のもと、地域医療を行ってきましたが、この承認を機会にあらためて当院の役割を再確認し、地域の急性期基幹病院としての役目をはたしていきたいと考えております。

当院は地域の医療・介護・福祉の関係機関様との連携をより活発に行い、地域住民の皆さまの「いのち」を守るため、日々努力していきたく思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

岩手県立磐井病院 院長 加藤博孝



診療科紹介



神経内科

県立磐井病院に神経内科の常勤医が赴任したのは、当院が現在に狐禅寺に移転した年の平成18年の8月でした。それ以前は週2回の外来を派遣医師が行っていました。

赴任当初の外来患者数は1日2-3人、入院患者数は2-3人と、かなり時間的に余裕のありすぎる時期がしばらく続きました。徐々に磐井病院に神経内科医がいるということが周囲に認知され、地域の先生方からいろいろな患者様を御紹介いただけるようになり現在に至っております。

神経内科は、脳血管障害、認知症等、老人に多い疾患を主に診療しております。特に認知症は、患者数が年々増えており、妄想、介護拒否等の周辺症状の問題や、末期で食事をとれなくなった患者の対処をどうすればいいかなどの相談も多くなってきました。

近い将来、認知症を家庭で、地域でどう対処していけばいいのかは社会的に大きな問題になってきます。認知症患者を抱える家庭にとって、家庭への負担を如何にして減らすか、問題行動が顕著化したときにはどこに相談すればいいのかは大きな関心事になります。残念ながらその答えを私は

持っておりませんし、一個人、一病院でどうのこうのできる問題ではありません。患者を通してその答えを思案しながら、これからも神経内科の診療に従事していきたいと思えます。



認定看護師紹介

道上美貴：がん化学療法認定看護師

2人に1人ががんに罹患する現在、患者さんの多くはさまざまな治療を行ない、長い経過をたどります。その中で、がん化学療法は重要ながん治療の1つとなっています。

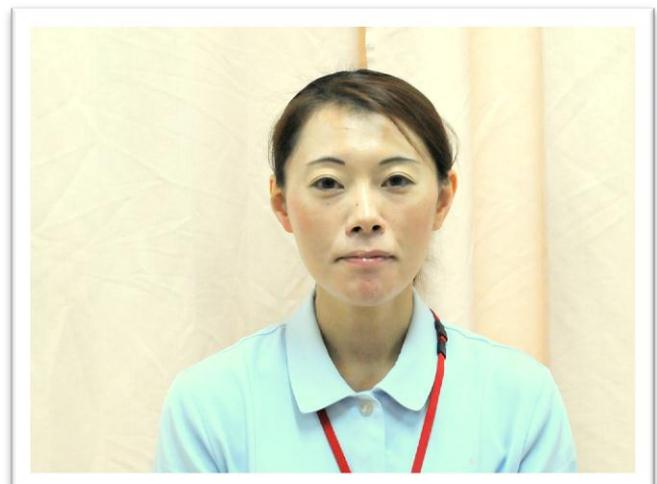
がん化学療法看護認定看護師として、患者さんとご家族が納得した治療で、安心して、安全に、確実に治療が継続できるように専門的な知識や技術を用いて、治療患者さんのQOLの維持・向上を目指した活動をしたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



四垂真弓：新生児集中ケア認定看護師

県立磐井病院は地域周産期母子医療センターとして、在胎34週以降に出生した新生児を受け入れています。

私の役割は生まれてきた赤ちゃんが新しい環境に適応していけるよう、急激な変化を予測し、成長発達の促進や親子関係を築けるための看護ケアを提供しています。また、言葉で表現できない赤ちゃんの小さなサインを読み取り、一人一人に合わせた看護を提供できるよう、スタッフの知識や技術の習得に向けた支援を行っています。どうぞよろしくお願いいたします。





NST（栄養サポートチーム）の取り組みについて

順調に退院される患者さんが多くいらっしゃる一方で、なかなか退院を迎えられない患者さんもいらっしゃいます。「消化管を使うことが回復への近道！」ということは、みなさまもよくご存じのことと思いますが、疾患によっては絶食が長期化することもあり、栄養ルートを選択に影響を与えてしまうこともあります。

磐井病院 NST(Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム)は、患者の栄養状態を把握し、最もふさわしい栄養管理を指導・提言することで患者の治療、回復、退院、社会復帰を図ることを目的として活動しています。

チームは、外科医師(日本静脈経腸栄養学会認定医)、神経内科医師、歯科口腔外科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士(NST 専従)、臨床検査技師、理学療法士、言語

聴覚士で構成され、週 1 回カンファレンス、回診を行っています。

多職種が集まって患者さんの情報を共有し、問題点について様々な意見が出されて話し合うことにより、問題解決の糸口が見えることも少なくありません。カンファレンス終了後、実際に病室へ伺い、患者さんとお話しもいたしますので、身近に感じていただけていると思います。

また、当院は、NST専門療法士臨床実地修練の研修施設となっており、資格取得を目指す医療従事者の受け入れも行っています。

紹介率・逆紹介率の状況

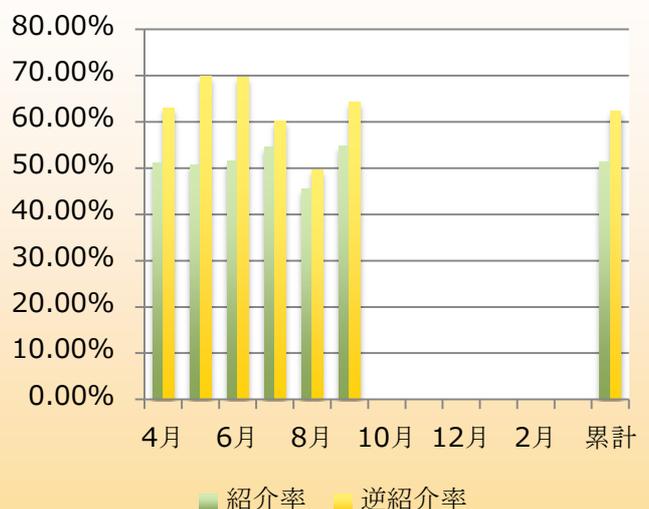
現在の医療情勢では、個別の病院にて全ての医療を完結することは不可能な時代となり、地域内で完結した医療を提供することの重要性が高まってきました。このためには、個々の医療機関が適切な役割分担と連携を図っていくことが大切です。

紹介率・逆紹介率は、地域の中核病院として、地域の病院・診療所との連携をどのくらい密に図っているかを測る指標となります。

こちらでは、地域医療支援病院の要件となる紹介率算出方法で計算した実績を掲載いたします。

- 紹介率 = (紹介患者数 + 救急患者数) ÷ 初診患者数 × 100
- 逆紹介率 = 逆紹介患者数 ÷ 初診患者数 × 100

平成25年度紹介率・逆紹介率グラフ



地域連携パス検討会を開催

当院は地域医療機関との適切な連携を進めるため、平成20年5月より脳卒中の地域連携パスを運用開始し、平成21年4月より大腿骨頸部骨折地域連携パスの運用を開始しております。去る7月に地域連携パス検討会が開催されましたので、ご報告させていただきます。

大腿骨頸部骨折地域連携パス検討会は7月2日に開催されました。パス運用件数は160件、パス導入率は40.1%となり、概ね順調に運用できていると思われま。今後は、県立大東病院の病棟復帰、県立千厩病院の回復期リハビリテーション病棟立ち上げ等も含めさらなる連携ができるよう努力していきたい

と考えております。

脳卒中地域連携パス検討会は7月9日に開催されました。パス運用件数は142件となっております。次回検討会では、講演会を予定しており、一関病院が回復期で加わる予定となっております、さらなる連携が可能となるのではと考えております。

地域連携パス検討会の開催状況は以上でございますが、当院は地域医療機関の皆様と共にさらなる地域医療連携が可能となるよう今後も努力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



【地域医療福祉連携室運営委員会】

開放病床の運用について

当院では地域医療支援病院の指定取得に伴い、一関市医師会様との連携のもと、当院担当医師と登録医の先生方が相互に医学の研鑽を図り、包括的で一貫性のある医療を提供することを目的として今年度より開放病床を5床設置しております。

■登録医の先生方にとっての利点

- ・ 入院中の患者さんの情報を共有することができ、退院後の継続医療が円滑に行えます。
- ・ 登録医と当院主治医が入院患者さんに対して共同指導を行った場合、開放型病院共同指導料の算定が可能です。

■患者さんにとっての利点

- ・ 当院入院後も、かかりつけ医に継続的に診療に関わっていただくことができ、患者さんも安心して一貫した医療が受けられます。

■登録医について

当院の開放病床を利用するにはあらかじめ「登録医」への登録が必要です。(地域医療福祉連携室まで、お問い合わせ願います。)



いわい
岩手県立磐井病院

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ: <http://www.iwai-hp.com>
公式 Facebook: <http://www.facebook.com/iwaih>

【連絡先】

〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺字大平17
電話 (0191)-25-3452 Fax (0191)-23-9691
連携室直通 Fax (0191)-21-3990